

MACF礼拝説教要旨
2020.10.04

【イエス・キリストを復活させた神の霊が】
ローマの信徒への手紙8章

11 もし、イエスを死者の中から復活させた方の霊が、あなたがたの内に宿っているなら、キリストを死者の中から復活させた方は、あなたがたの内に宿っているその霊によって、あなたがたの死ぬはずの体をも生かしてくださるでしょう。

++++

1) 罪ある人間の現状／惨状

創世記

2:7 主なる神は、土（アダマ）の塵で人（アダム）を形づくり、その鼻に命の息を吹き入れられた。人はこうして生きる者となった。

私たちは創造された時、神の霊を吹き込まれ、神の命を吹き込まれて生きるものになりました。しかし、罪ゆえに、私たちは神の霊によって生かされていることもまた、その必要性さえも感じなくなってしまうほど霊的には無感覚、死んだも同然の生き方をするようになりました。神の霊が去ってしまったわけではありませんが、私たちの罪に埋もれ、いわば窒息寸前の状態に近いくらい無視され、抑圧されているので、人間らしい生き方とはなにか分からなくなってしまう現在の現状こそが、今の私たちのあり様です。

パウロはそのことをこう語っています。

ローマの信徒への手紙1章

1:19 なぜなら、神について知りうる事柄は、彼らにも明らかだからです。神がそれを示されたのです。

1:20 世界が造られたときから、目に見えない神の性質、つまり神の永遠の力と神性は被造物に現れており、これを通して神を知ることが出来ます。従って、彼らには弁解の余地がありません。

1:21 なぜなら、神を知りながら、神としてあがめることも感謝することもせず、かえって、むな

しい思いにふけり、心が鈍く暗くなったからです。

1:22 自分では知恵があると吹聴しながら愚かになり、

1:23 滅びることのない神の栄光を、滅び去る人間や鳥や獣や這うものなどに似せた像と取り替えたのです。

2) 神の介入による救いへの道と恵み

しかし、神様はそういう私たちを見捨ててしまうことはなさいませんでした。

恵みによる介入、愛による救いの道を提示してくださいました。

御子イエス・キリストの贖いのおかげで、私たちに古い肉なるものの支配からの解放がもたらされたのです。

ローマの信徒への手紙

3:23 人は皆、罪を犯して神の栄光を受けられなくなっていますが、

3:24 ただキリスト・イエスによる贖いの業を通して、神の恵みにより無償で義とされるのです。

3:25 神はこのキリストを立て、その血によって信じる者のために罪を償う供え物となさいました。それは、今まで人が犯した罪を見逃して、神の義をお示しになるためです。

3:26 このように神は忍耐してこられたが、今この時に義を示されたのは、御自分が正しい方であることを明らかにし、イエスを信じる者を義となさるためです。

3:27 では、人の誇りはどこにあるのか。それは取り除かれました。どんな法則によってか。行いの法則によるのか。そうではない。信仰の法則によってです。

3:28 なぜなら、わたしたちは、人が義とされるのは律法の行いによるのではなく、信仰によると考えるからです。

3) 人と神との関係回復と礼拝の心の回復

私たちはイエス・キリストの支配下に置かれることになりました。

そこには愛があり、自由があり、神の祝福があふれています。

コロサイの信徒への手紙

1:13 御父は、わたしたちを闇の力から救い出して、その愛する御子の支配下に移してくださいました。

1:14 わたしたちは、この御子によって、贖い、すなわち罪の赦しを得ているのです。

そのために、私たちはみことばを理解する必要がありますが、聖霊が与えられることによりその道が開かれました。聖霊は神に属していることの保証です。

エフェソの信徒への手紙1章

13 あなたがたもまた、キリストにおいて、真理の言葉、

救いをもたらす福音を聞き、そして信じて、約束された聖霊で証印を押されたのです。

14 この聖霊は、わたしたちが御国を受け継ぐための保証であり、

こうして、わたしたちは贖われて神のものとなり、神の栄光をたたえることになるのです。

4) 人間の現状への大きな助けと希望

また、イエス様の教えてくださったとおり 聖霊は私たちの弁護士、なぐさめ主、真理への導き手でもあります。

同時に、神様の愛を心にふかく理解させ、あるいは感じさせ、イエス様こそ救い主であることを悟らせてくださいます。

以下の箇所はイエス様ご自身の教えです。

ヨハネによる福音書14章

16 わたしは父にお願いしよう。父は別の弁護士を遣わして、永遠にあなたがたと一緒にいるようにして下さる。

17 この方は、真理の霊である。世は、この霊を見ようとも知ろうともしないので、受け入れることができない。しかし、あなたがたはこの霊を知っている。

この霊があなたがたと共におり、これからも、あなたがたの内にいるからである。

18 わたしは、あなたがたをみなしごにはしておかない。

あなたがたのところに戻って来る。

ヨハネによる福音書15章

26 わたしが父のもとからあなたがたに遣わそうとしている弁護士、

すなわち、父のもとから出る真理の霊が来るとき、

その方がわたしについて証しをなさるはずである。

ヨハネによる福音書16章

16:13 しかし、その方、すなわち、真理の霊が来ると、あなたがたを導いて真理をことごとく悟らせる。その方は、自分から語るのではなく、聞いたことを語り、また、これから起こることをあなたがたに告げるからである。

16:14 その方はわたしに栄光を与える。わたしのものを受けて、あなたがたに告げるからである。

+++

つまり、神様は私たちが肉の欲望、そして神様を抜きにした殺伐とした生き方から解放して

キリストの支配下に移し、聖霊を与えてくださることで救いの確信、またこれからの生き方の導きを圧倒的な温かさをもって私たちに備えてくださいました。

本来は死ぬべき存在でしたが、神は昔、人を生かしたように、またキリストを復活させた

ように、その霊によって私たちが再生させてくださいました。

今、私たちは自分の体を「聖霊の宮」として整えるべきことが勧められています。

祝福がありますように。

+++

MACFの皆様へ【聖餐式について】

礼拝に集うことができないので、聖餐式ができていません。

でも、今日はぜひ、以下の聖句を読み、また映像をみていただいて各家庭、あるいは個人でイエス様との聖餐のときをもってください。

+++

聖書朗読

ヨハネによる福音書15章

15:12 わたしがあなたがたを愛したように、互いに愛し合いなさい。これがわたしの掟である。

15:13 友のために自分の命を捨てること、これ以上に大きな愛はない。

15:14 わたしの命じることを行うならば、あなたがたはわたしの友である。

15:15 もはや、わたしはあなたがたを僕とは呼ばない。僕は主人が何をしているか知らないからである。わたしはあなたがたを友と呼ぶ。父から聞いたことをすべてあなたがたに知らせたからである。

マタイによる福音書

26:26 一同が食事をしているとき、イエスはパンを取り、賛美の祈りを唱えて、それを裂き、弟子たちに与えながら言われた。「取って食べなさい。これはわたしの体である。」

26:27 また、杯を取り、感謝の祈りを唱え、彼らに渡して言われた。「皆、この杯から飲みなさい。」

26:28 これは、罪が赦されるように、多くの人のために流されるわたしの血、契約の血である。

コリントの信徒への手紙第一

11:23 わたしがあなたがたに伝えたことは、わたし自身、主から受けたものです。すなわち、主イエスは、引き渡される夜、パンを取り、

11:24 感謝の祈りをささげてそれを裂き、「これは、あなたがたのためのわたしの体である。わたしの記念としてこのように行いなさい」と言われました。

11:25 また、食事の後で、杯も同じようにして、「この杯は、わたしの血によって立てられる新しい契約である。飲む度に、わたしの記念としてこのように行いなさい」と言われました。

11:26 だから、あなたがたは、このパンを食べこの杯を飲むごとに、主が来られるときまで、主の死を告げ知らせるのです。

パンを食べ、ぶどうジュースを飲む時、これらの言葉を思い返し、イエス様がこの食卓にお招きくださっていることをしっかり心に受け止めて、感謝しながら食してください。

参考のための聖餐式の映像

<https://youtu.be/m8KVGMSp2w8>